

原点はストリートライブ



Yuta Kitashimizu

私から「ヒトコト」

■ストリートライブを始めたきっかけ

元々長瀬剛さんが好きで、そこからギター一本で弾き語りできる魅力のようなものを感じたことです。でも、どうやってライブハウスに出たらいいのか全く分からない状態だったので、「路上でなら気軽にできるかな」と思ってストリートライブ活動を始めたんです。

■ストリートライブの魅力は

誰しもが日々の中で感じる楽しいことや辛いことなんかを歌詞やメロディーにして、その歌を聴いてくれるお客さんと一緒に笑ったり、泣いたり、共感できることです。特にストリートだと、お客さんとの距離がものすごく近くてダイレクトに心の動きを感じられるんです。それから、季節感や天気を一緒に体感しながらライブできるっていうのもいいかな。ドシャ降りの中でみんなスプ濡れになりながら歌ったことも

ありました。やっぱり、僕にとってはストリートライブが一番気持ちいいステージだし、原点ですね。

母親が音楽好きだったこともあって、小さい頃から音楽には親しんでいました。ただ、小さい頃は料理人に憧れていたんです。特に板前さん。カウンター越しの板前でなんかカッコいいじゃないですか。「男子厨房に入らず」というような古い格言に反しているところもよいですね。それから、今は小説家にも興味を持っています。昔から文章を書くのが好きなんです。歌詞も一種の文章ですからね。書くとしたらミステリーを書いてみたいなあ。例えば「相手に他の男がいるんじゃないか」というような恋愛模様とかいいですね。

■埼玉の思い出

印象深いのは、越生町にある黒山三滝です。沢ガエをとったりしてよく遊びました。高校生になってからもたびたび遊びに行きましたよ。ほんとに癒される場所なんです。是非行ってみてください。食べ物でいうと、地元の毛呂山町は「ゆず」が有名なんですけど、自宅の近くにゆずが入ったラーメンを出す店があって、すごいおいしかったのを覚えています。僕が小さいころはまたラーメンブームではなかったのですが、行

列ができるほどだったんですよ。

■読者へのメッセージ

埼玉県の人って本当に絆が深くっていいなって思います。友達の間でもちよこちよこ近況報告がありますから。今は、全国に歌を届けている日々なんですけど、小さい頃の原風景やふるさとをテーマにした歌なんかもあります。僕と同じく埼玉出身だったり、今、埼玉に住んでいたりする方はぜひ僕の歌を聴いていただいで、何か1つでもシンパシーを感じていただければ嬉しいです。

シンガーソングライター 北清水雄太さん

きたしみず・ゆうた



プロフィール ●
毛呂山町出身。2000年4月に「サスケ」を結成し、大宮駅西口付近でストリートライブ活動始める。2004年にデビューシングル「青いベンチ」が大ヒット。その後、ライブチケットが数分で売り切れてしまうなど人気ユニットとなる。現在は、「北清水雄太」として、ソロ活動を続けている。

埼玉プレイクの配布は、以下の鉄道会社様にご協力いただいております。

県内へのお出かけには便利な鉄道をご利用ください。

Vol.02
 Vividly 通巻42号

【編集発行】彩の国さいたま魅力づくり推進協議会事務局 E-mail a2840-29@pref.saitama.lg.jp
 〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1 広聴広報課内 tel.048-830-3192 fax.048-824-7345